

キトラ古墳壁画展の展示室

大変盛況の内に幕を閉じた「キトラ古墳壁画四神」の展覧会でしたが、展示室の壁面の色が塗り分けられていることにお気づきになられた方はいらっしゃるでしょうか。通常では常設展が行われている第一展示室ですが、今回のキトラ古墳特別展示のために3月に入ってから閉鎖をおこない、展示ケースや遺物の移動に加えて、キトラ特別展をおこなうために必要な壁面を設置し、短期間で姿をガラリと変えることになりました。

キトラ展のために設置された壁面をみると、黄、青、黒、白、赤の5色で塗り分けられていることに気がきます。これは、五行思想による塗り分けを、展示室の壁面に表現したもので、部屋の中心にあたる壁は黄色、青龍のケースの前は青、玄武の前は黒、白虎の前は白、朱雀の前は赤といったように壁が塗り分けられています。皆様に、四神の世界観をより視覚的にご理解いただけるためにこのような配色としましたが、いかがでした

でしょうか。

キトラ展が終わった現在では5色の壁面も撤去が始っており、少しさびしいような気もしますが、常設展示に復帰するべく急ピッチで作業を進めています。そして7月からは、皆様にこれまで通りの飛鳥の歴史を紹介する常設展示を御覧いただける予定ですので、どうぞ今しばらくお待ちください。

(飛鳥資料館 成田 聖)



特別展示中の第一展示室

■ お知らせ

特別公開講演会（東京会場）

2010年9月25日（土）

於：有楽町朝日ホール

テーマ「古代はいま」（予定）

平城宮跡資料館 夏期企画展

2010年7月10日（土）～8月31日（火）

「平城宮跡 今・昔－岡田庄三写真展－」

飛鳥資料館 夏期企画展

2010年7月16日（金）～9月5日（日）

「小さな石器の大きな物語」

平城宮跡歴史文化講座（第12回）

（NPO平城宮跡サポートネットワーク主催）

2010年9月25日（土）午後1時30分～

於：平城宮跡資料館講堂

「遺構・遺物からのアプローチ」

富山大学教授 黒崎 直

「木簡が語る平城京の時代」

馬場 基 都城発掘調査部主任研究員

ディスカッション「講演者に聞く」

コーディネーター 柳林 修

読売新聞大阪本社編集委員

入場者409名

公開講演会（第106回）

2010年6月12日（土）於：平城宮跡資料館講堂

ミニ講演「古代の食卓復元を再考してみよう」

田辺 征夫 所長

「平城遷瓦－都がうつる。瓦もうつる－」

中川 あや 都城発掘調査部研究員

「古代における日本と新羅の交流」

高田 貫太 都城発掘調査部研究員

入場者222名

■ 記録

埋蔵文化財担当者専門研修

○建築遺構調査課程

2010年6月14日～18日

16名

現地説明会

○平城第466次発掘調査（平城宮東方官衙）

2010年4月17日（土）

750名

特別公開講演会（東京会場）

2010年5月15日（土）於：江戸東京博物館

「平城宮跡のむかしと今」田辺 征夫 所長

「大極殿復原」島田 敏男 文化遺産部建造物室長

■ 最近の本一所員の著作から

○渡辺 晃宏『平城京一三〇〇年「全検証」』

柏書房、2010年4月

○金田 明大『文化財のための三次元計測』

岩田書院、2010年5月

○豊島 直博『鉄製武器の流通と初期国家形成』

塙書房、2010年5月

編集「奈文研ニュース」編集委員会

発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.jp/>

Eメール jimu@nabunken.go.jp

発行年月 2010年6月